

# 平成二十六年 度 総 会 開 催

## 熊本県芸術文化祭第55回記念奨励賞表彰式 第49回県文化懇話会賞・同新人賞贈呈式

平成二十六年 度 熊本県文化懇話会・熊本県文化協会の総会が五月二十六日(月)、熊本市中央区城東町の熊本ホテルキャッスルで約四百六十名が出席して開催された。

### 吉丸会長二期目のスタート

司会の原武博之氏が現在県文化懇話会三十八部門、千五百三十九名、名誉会員百二十二名、賛助会員二十五名。県文化協会二百二十四の文化団体と市町村文化協会三十八団体となりましたことを告げ、二十六年 度の総会を開会した。

初めに来賓祝辞として蒲島県知事が「私は小さい時から文化に関心があり、毎回出席を楽しみにしています。県として、経済振興も大切ですが、熊本 文化を守っていききたいと思っています。本日の受賞の方々へお祝いを申し上げると共に、文化協会の発展を祈ります」と述べた。

続いて幸山市長(代理・牧慎太郎副市長)が「これからの熊本市の街づくりは人を引きつけるものが必要ではない

か。その核は熊本 歴史と文化です。受賞の方々へお祝いを申し上げます、皆様の益々の活躍を祈ります」と祝辞を述べた。

### 新役員、決算・予算案を承認

議事に移り、まず先の理事会で選出された吉丸良治氏の代表世話人・会長を拍手により承認。恒例により議長に選出した。

この後吉丸良治会長代表世話人・会長が挨拶、「昨年は懇話会創立五十周年でした。また新たに会員の皆様と一緒に頑張っていきたいと思っています。そして熊本 文化を子どもたちに伝え、地域もまた元気に行ければと願っていますので、よろしく」と挨拶した。

そして吉丸議長の進行により、一号議案、平成二十六年 度・二十七年度に選出された役員、および二号、三号議案、平成二十五年度、懇話会・協会事業実施報告・収支決算案——五十周年記念事業、老朽パソコンの更新等について——佐々専務理事の報告説明、小野監事の監査報告が行われた後に承認された。

続いて四号、五号議案。平成二

十六年度懇話会・協会の事業実施計画、収支予算案について佐々専務の報告説明後承認され、議事を終えた。

### 熊本県芸術文化祭奨励賞 三作品を表彰

平成二十五年度 第五十五回熊本県芸術文化祭奨励賞表彰式に移り、大江常任顧問が代表して選考経過を報告した後、今年度は三団体の作品、事業が表彰された。

○ヴェルディ生誕二百年記念オペラ特別公演「椿姫」全三幕  
○第五十回定期演奏会 熊本大学フィルハーモニーオーケストラ  
○南阿蘇村・谷人たちの美術館

以上、関係者は壇上に登り、吉丸会長より賞が贈られ、写真撮影などが行われた。



# 懇話会賞島田氏(作家) 新人賞に福島氏(民謡家) 堀田氏(演出家)を表彰

次に第四十九回熊本県文化懇話会賞・同新人賞の贈呈式に移った。初めに坂本正氏が代表して選考経過を報告「去る三月三十一日、八名の選考委員会により、懇話会賞二名、新人賞六名の候補より、満場一致でえらばれました」と受賞者への評価を述べた。

懇話会賞は作家で島田美術館長の島田真祐氏(七四)、熊日夕刊に連載され、その後出版された現代小説「モンタルバン」の戦争をめぐって、青年将校の心の闇に切り込み、読者の想像力を膨らませる文章力に高い評価を受けた。

新人賞の民謡家・福島竹峰氏(五七)はこれまでの民謡普及活動に加え、東日本大震災の後、直ちに被災者を慰問し、作詞作曲した「てんでこの唄」の普及活動が顕著であったことが評価された。

同じく新人賞の演出家・堀田清氏(六四)は演劇界のリーダーとして、県内各団体の自主事業に尽力すると共に、直木賞作家・出久根達郎氏の脚本「庭に一本な

つめの金ちゃん」の熊本・東京公演の新機軸の演出が高い評価を得た。

三人は壇上に登り、それぞれに吉丸会長より賞を贈呈され、写真撮影が行われた。

また表彰者の島田氏には橋元俊樹氏から、新人賞の



福島氏には瀧川華峰氏、堀田氏には木内里美氏より祝いの花束が贈呈された。

つづいて受賞者の挨拶に移り、懇話会賞の島田氏が「小人閑居して不善をなす、何の為にもならないことを考え、私の妄想で書いた小説です。それでこの様な賞をいただき、恐縮しています」と述べた。

新人賞の福島氏も「地道にやって来た民謡を認めていただいて嬉しい。志を高く持って、夢を届けられる様ようがんばりたい」と

謝辞。

新人賞の堀田氏は「六十四歳の新人です。漱石作の役者、スタッフの方々全員でこの賞をいただいたと思っています。熊本演劇界が活発になるよう、これからも尽力したい」とお礼を述べ式を終えた。

## 祝賀と懇親の宴

この後受賞者祝賀会および懇親会に移った。

祝賀会では新人賞の福島氏および同社中により、「若竹三番叟」、「てんでこの唄」、「牛深ハイヤ節」の演奏が行われ、会場の大きな拍手を受けた。

## 賑やかに華やかに

次に小堀富夫名誉会長の乾杯の音頭で懇親会に移った。

会場は同じ部門、同じ社中の楽しい懇談、受賞関係者へのお祝い、賛辞など賑やかな輪がテーブルを囲んだ。

午後八時半、土井郁夫氏(NHK熊本放送局長)の締めにより閉会し散会した。

(県文化懇話会常任世話人・勇 知之記)

(撮影・坂本 徹氏)

